



ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第97号



川崎 桃子氏

宮崎の短期大学を卒業し、宮崎市役所に勤務。その後、志布志市で地域おこし協力隊として活動。「志布志市郷土かるた」を作成する。

現在は志布志市役所で地域支援員として、地域コミュニティ協議会の設立や協議会の活性化支援に携わる傍ら、子育て支援と地域の集いの場づくり活動「地域♥子育て支援サロン MOMOカフェ」のオーナーを務める。



榎山 弘昭氏

山重校区コミュニティ協議会の健康福祉部長。地域課題についてアンケート調査より、地域の助け合い活動の必要性を感じ、ちょっとした困りごとを地域のサポーターがお手伝いする助け合い活動「山重お助け隊」を立ち上げる。自治会長会やふるさとまつりなどでのPRと並行し、SNSを活用しながら「やるき まっすぐ しんけん げんき」を合言葉に、地域住民が主役となったふくしのまちづくりを進めている。



中原 信夫氏

郵便局を退職後、民生委員・児童委員を11年間勤める。「郵便局勤務時と民生委員活動時からお世話になっている地域に恩返しをしたい」という思いから、毎週木曜日に「たまり場カフェ」、日曜日に「三文字茶屋(そば屋)」、第2・第3土曜日に「ふれあい子ども食堂」を運営し、地域のつながりを大切に、老若男女、誰でも気軽に集える居場所づくりを行っている。



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。

初春に想ふ



志布志市
社会福祉協議会
会長
溝口敏久

皆様方におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、新たなステージへと進むようとしておりますが、これまで受けてきた経済的・精神的ダメージは大きく、生活への不安は絶えることがありません。

また、世界各地での紛争もあり、世界情勢が不安定となるなか、食料や生活物資の高騰が加わり、厳しい経済状況が続いております。

このような中、福祉に対する関心や理解を深める場として、地域福祉推進大会を開催し、志布志市における地域福祉活動についてシンポジウムを開催し、地域での活動の様子を考える機会となりました。

市社会福祉協議会は、日頃から毎日の生活がひっ迫し

ている世帯の駆け込み寺となり、寄り添い支援をしてきました。その財源等は、行政をはじめ市民・団体の会費や寄付金、各種団体や有志の支援であり、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」活動を展開してきました。

今後も、地域福祉の推進役として、住民の複雑化・複合化した地域課題に対応できる包括的な支援体制を構築していくため、役員一丸となって鋭意努力してまいりますので、市民の皆様のご御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和六年は『甲辰』（きのえ・たつ）で、辰年（たつどし）は「上昇し勢いを増しながらぐんぐんと成長活気がある」年になるといわれています。

それにあやかり、法人理念であります『共にささえあい 笑がおで暮らせる地域をめざして』その実現を目指し、活気あふれる活動を目指してまいります。

辰の年が、世界的な紛争が終結し、皆様方にとって明るい話題に溢れ飛躍する良い年でありますことをご祈念申し上げます。

令和5年度 志布志市地域福祉推進大会

テーマ『共にささえあい 笑がおで暮らせる地域をめざして』

11月23日（勤労感謝の日）、志布志市文化会館にて地域福祉推進大会を開催しました。

大会では、民生委員・児童委員の方々や福祉団体、児童・生徒のボランティアポイントなど、部門ごとの表彰が行われました。

また、「志布志市における地域福祉活動について」と題し、県社会福祉協議会の古市部長をコーディネーターとしてお招きし、市内での地域福祉活動を紹介し、シンポジウムを開催しました。

大会の被表彰者につきましては、広報紙ささえあい第96号（令和5年11月発行）に掲載いたします。



支え合いのまち、志布志市へ

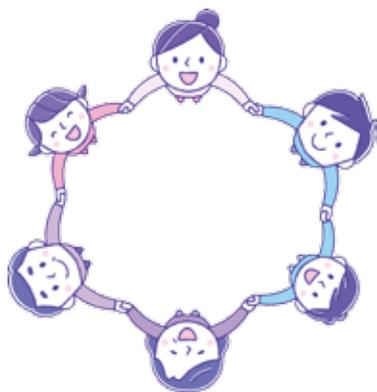
志布志市社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心した生活を送れるよう、**地域における支え合い活動を推進**しています。

私たちの住む日本では、高齢化の中で人口減少が進行し、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。

人口減少による担い手の不足や、血縁、地縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、国では人と人、人と社会がつながり支え合う取り組みが生まれやすいような環境を整える施策を進めています。

本会においても、そのような背景を踏まえ、お互いに支え合える地域づくりに向けて、地域における支え合い活動や助け合い活動を推進しています。

本市の各地域における支え合い活動や、支え合いの仕組み作りに向けた取り組み、支え合いの意識醸成のための取り組みを紹介します。



11/29

山重地区(有明町)

山重お助け隊出動!!

山重校区公民館では、これまで、ふるさとまつりのイベント開催や国道守り隊として、通学路の清掃活動を行っています。福祉事業については、福祉の集いや年6回の給食サービス事業を行っています。

令和4年度から山重校区公民館から山重校区コミュニティ協議会に移行することに伴い、新しいまちづくりへ向けての話し合い活動を行った結果、今後の高齢化社会へ向けて、高齢者の困りごとをお手伝いするために、「山重お助け隊」の組織をつくり活動を推進していくことに決定しました。

この事業は、高齢者等の方がかねての生活で困っている「ごみの分別」「話し相手」「掃除」「身の回り」「草取り」「調べもの」などについて、校区内のサポーターがお手伝いするというものであります。

サービスを利用するには、会員登録いただき、困ったときにお

電話いただき、サポーターが2名体制訪問してお手伝いを行います。有償でのボランティアとして、1回のサービスについては、30分で300円。2人で作業した場合は、600円となります。

サポーターの方からは、「いざれお世話になるかもしれないので、今のうちにできるボランティアをしておこう」という話を聞いています。

「山重お助け隊」の現在の会員につきましては、利用したい高齢者等会員が4名、サポーター会員が約20名となっています。

先日は、「家の裏が雑草に覆われており草刈りをお願いしたい」との依頼があり、3人で1時間の作業を行いました。作業後は、大変きれいになり、依頼された方も喜ばれておりました。

次は、家の周りの片付けの依頼がきておりますので、2チーム編成で作業を行う計画です。

まだ始まったばかりの「山重お助け隊」でありますので、皆様の意見を聞きながら無理のない範囲で進めていきたいと考えています。

山重校区コミュニティ協議会
福祉部長 樺山弘昭





令和5年度

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

令和5年度 共同募金 実績報告

皆様の善意に
感謝いたします

敬称略・順不同にて
掲載いたします

街頭募金 赤い羽根 一般募金

- 志布志地区**
- ・ ナフコ志布志店
 - ・ 生協コープかごしま志布志店

松山地区

- ・ 社会福祉法人 松山やっちく会 (募金箱)
- ・ 松山地区民生委員児童委員協議会

職域募金

志布志地区

- ・ 社会福祉法人 隆愛会
- ・ 志布志地区民生委員児童委員協議会
- ・ 市役所本庁

- ・ 有明中学校
- 計 75,660円

個人募金

志布志地区

- ・ 匿名
- 計 4,860円

- 有明地区**
- ・ 山重ふるさと祭り
- 計 100,063円

その他の募金

志布志地区

- ・ サンポートじぶシアピア (募金箱)

戸別募金

- ・ 一般募金 5,598円
- ・ 3,398,000円

- ・ 歳末たすけあい募金 5,776円
- ・ 1,188,600円

- 募金総額
- 5,049,265円





学校募金

志布志地区

- ・安楽小学校
- ・森山小学校
- ・志布志高等学校

松山地区

- ・泰野小学校

有明地区

- ・山重小学校
- ・蓬原小学校
- ・有明小学校
- ・野神小学校
- ・通山小学校
- ・宇都中学校

サンポートしぶしピア
スーパースターションシム
タ志布志店

有明地区

- ・Aコープあおぞら店
- ・四季彩館ほりぐち志布志店
- ・ミネサキ有明店

計 96,426円

イベント募金

志布志地区

- ・志布志市グラウンド・ゴルフ協会
- ・チャリティグラウンド・ゴルフ大会
- ・森山マルシェ
- ・志布志市ボランティア連絡協議会グラウンド・ゴルフ交流会募金箱

松山地区

- ・建築士会曾於支部
- ・松山小学校ボランティア少年隊
- ・泰野小学校ボランティア少年隊
- ・尾野見小学校ボランティア少年隊

有明地区

- ・有明地区民生委員児童委員協議会

計 99,404円

歳末たすけあい募金

個人・団体募金

志布志地区

- ・市役所本庁（募金箱）
- ・志布志市健康ふれあいプラザ（募金箱）
- ・令和5年度志布志地域福祉推進大会（募金箱）

松山地区

- ・アイシヨップ泰野店（募金箱）

有明地区

- ・市役所松山庁舎（募金箱）
- ・Aコープあおぞら店（募金箱）
- ・市役所有明庁舎（募金箱）

計 33,305円

令和5年度の赤い羽根共同募金へのご協力、ありがとうございました。皆様のおかげをもちましてたくさん募金が集まりました。

集まりました募金は、募金された地域や県内各地で様々な活動に活かされています。

また、災害時には共同募金会からのお見舞金等としても活用されています。

これからもご協力をよろしくお願いいたします。

広報誌第97号に掲載分は、令和5年11月30日までの募金を掲載しております。

12月以降にいただきました募金については、改めて掲載させていただきます。ご了承ください。



安楽地区にんちしよう安心サポート模擬訓練

安楽校区公民館での活動を紹介します

安楽校区公民館福祉部にんちしよう安心サポート事業

この事業は「認知症の正しい知識や認知症の人に対する正しい理解を深めることに焦点をあて、昨年度から新たに事業化したものです（昨年度はコロナ禍中止）。

世界保健機関では、約3秒に1人の割合で新たに認知症が発症していると報告されています。国内でも認知症の有病率は上昇傾向にあります。

認知症になつたらどうしようかと悲観的になるのではなく、なつたときにどのように生きたいか自分自身も地域も備えておく時代と考えます。安楽校区公民館福祉部としても、私たちが取り組めることを考え、企画立案し、前に進めていく中で様々な団体の協力をいただくことができました。

企画段階から志布志認知症を支える会、市地域包括支援センター、志布志市社会福祉協議会の皆さんの協力をいただき心強かったです。まずは安楽校区公民館の運営審議員でもある自治会長を対象とし、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

認知症サポーター養成講座では、認知症を考えたときのいちばん基本的で大切な考え方を学ぶことができました。



受講者アンケートより、「講座で認知症を理解することができて良かった。認知症の人をみかけたら不安にさせないように否定しない。まずは優しく声をかけたい。」などの声がありました。



講座を終え「にんちしよう安心サポート模擬訓練」では、自治会長の皆さんに認知症の人役」を事例別に演じてもらいました。この訓練では、認知症の人が周囲の人の言葉や態度しだい、どのようになりがちが揺れ動くのかを、参加者が体験し、理解してもらおうことを目標としました。



振り返りの時間では「否定されるより認められたら嬉しい。周りの人の対応の違いで自分自身の気持ちの変化に気付くことができた。相手の心を思いやることの大切さを知ることができた。」といった意見や、「違う校区の場合や知らない人なら声をかけることができるのか。」といった課題が確認でき、「挨拶」が関係性をつくる第一歩であることあらためて感じました。

今は認知症を身近に感じられない人も、こうした取り組みを通して、認知症に関心をもっていただけるような事業展開を継続していきたいです。

（安楽校区公民館福祉部長山本）

日常生活のちょっとした困りごとを支援する

おやっとなさーびす活動員を募集しています！



掃除



買物代行



ごみ分別・ごみ出し

おやっとなさーびす活動は、日常生活でのちょっとした困りごと（掃除、買物代行、ごみ分別・ごみ出し等）を支援する有償ボランティア活動（支え合い活動）です。

- | | |
|------------|---|
| 1. 支援を行う世帯 | (1) 高齢者世帯 (2) 障がい者世帯 (3) 一人親世帯 (4) その他世帯 |
| 2. 活動内容 | ちょっとした困りごと（掃除、買物代行、ごみ分別・ごみ出しなど） |
| 3. 活動時間 | 月曜日～金曜日（午前9時～午後4時） |
| 4. 利用料金 | (1) 30分まで：300円 (2) 60分まで：600円
※活動員が自家用車を使用する場合：交通費100円（別途） |
| 5. 活動の流れ | 利用申込→社協職員訪問→活動員へ依頼→活動→利用料金支払→活動報告 |

ボランティアや地域活動、その他ご相談等お気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】 志布志市社会福祉協議会 本所（志布志市健康ふれあいプラザ内）
☎472-1800 担当：地域福祉係

～ 志布志市社会福祉協議会は地域の支え合い活動を推進しています。～



志布志市
ボランティア連協
(連絡協議会)
活動中！

志布志市ボランティア連絡協議会は、社協ボランティアセンターに登録している団体・個人の連携と相互の親睦、資質の向上に努め、社協と連携してボランティア活動の拡大を図ることを目的とし、活動しています。
現在、志布志市ボランティア連絡協議会には19団体が加入しており、一緒に活動する団体や個人を募集しています。今年度は、ボランティア研修会やボランティア視察研修を予定しています。興味のある方は社協ボランティアセンターまでお気軽にお声かけください。

○加入団体一覧（敬称略・順不同）

- 有明町ボランティアグループ
- 有明町更生保護女性会
- 有明町地域女性連絡協議会
- 朗読ボランティア「鈴」
- しぶし・おもちゃ病院
- しぶし自然愛好会
- 志布志町地域女性連絡協議会
- 志布志町更生保護女性会
- 志布志市立志布志中学校
- 三鐘流洋宗会
- かみふうせん
- 藤寿会
- 春日寿友会
- 紅千会
- 藤間流美栄輝会
- 藤間流美栄舞会
- 志布志ライオンズクラブ
- ボランティア団体「カンナ」
- 志布志町食生活改善推進員連絡協議会

志布志市社会福祉協議会 本所

電話 47211800
担当：地域福祉係

皆様の善意に
感謝いたします

香典返し寄附金

次の方々より香典返しのお礼にかえて市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げ故人のご冥福をお祈り申し上げます。いただきましたご寄附は、志布志市の地域福祉向上のために有意義に活用させていただきます。

(令和5年10月1日から
令和5年11月30日まで)

自治会名 寄附者名

志布志地区

稚児松	貴島孝弘	故正弘
上昭和	中原まゆみ	故馬場キヌ
上田節子	上田節子	故利生
南大原	上村喜童子	故昌志
横峯	田中俊一	故房子
大性院	森屋澄雄	故三則
清水	来條博美	故下村エミ
平出	志風ヨシエ	故初男
上庭門	徳留登美子	故ミチ
馬庭	中山典子	故若田スズエ
上馬	恒吉修二	故ウルカ
横町	池尻幸子	故貢征
夏場	川崎成浩	故康雄
夏井	谷口康幸	故雄
町原	濱崎幸子	故マサ子
米倉	昭	故マサ子

有明地区

野井倉	小蓬原忠俊	故忠三
豊原	藤田優子	故勉
風八重	中留政登	故フジ
清馬	池邊政登	故政光
西上馬	福元萬里子	故野崎ノブ
沢津ヶ峯	津町章	故津井道雄

下縄瀬	脇原ツキエ	故和美
下野井倉	京之嶺サツエ	故澄隆
下方限	外山帥生	故國男
伊崎田野	下木ヨシ子	故鐵夫
下通山	野村イサ子	故義幸

松山地区

川路三区	中村藤雄	故ツワ
東草之瀬	西口和子	故廣美
都城市	内村眞砂子	故金子ヒモ
河床	西田エミ	故守
川野	白坂光昭	故ヲコ
内之野	豊留ヒサエ	故益雄
京ノ峯	檢崎ノブ	故孝一

篤志寄附金

次の事業所・団体・個人の方々より市社会福祉協議会にご寄附をいただきました。地域福祉向上のため、有意義に活用させていただきます。ありがとうございます。

(令和5年10月1日から
令和5年11月30日まで)

志布志地区受付

・大山博美 20,000円

物品寄附

(令和5年10月1日から
令和5年11月30日まで)

志布志地区受付

- ・二見孝子
- ・トイレットペーパー2袋、洗濯用洗剤2箱、漂白剤2本、台所用洗剤3本、米5kg 2袋、ティッシュペーパー(5個組)1袋
- ・志布志市ボランティア連絡協議会 ペットボトル飲料2本、白だし1本、果物缶詰1個

自立支援センター「ひまわり」受付

- ・カレールー3箱、ポン酢3本、しょうゆ1本、せんべい1袋
- ・東洋埠頭 お米5kg 3袋
- ・フードバンクしぶし子ども食堂 清涼飲料水2箱・野菜ジュース20箱・濃縮コーヒー1箱
- ・匿名希望(多数) 粉・お米・お茶・飲料水・ジュース・インスタント食品・食料品・お菓子・寝具用品・肌着 他多数
- ・志布志市商工会女性部 お米6俵・素麺20束・キャンドレイ詰め合わせ3袋・せんべい3袋・清涼飲料水24本・石鹸2個・台所用洗剤2個 他多数
- ・有馬文雄 お米5kg 1袋・ぼんかん86個

ウクライナ人道危機救援金

(令和5年10月1日から
令和5年11月30日まで)

有明地区受付

・市役所有明庁舎救援金箱 314円

松山地区受付

・市役所松山庁舎救援金箱 1,446円

(令和4年3月2日)
令和5年11月30日受付分

これまでの合計金額
492,508円

※この救援金の期間は、
令和6年3月31日までです。

生活福祉資金(教育支援資金、就学支度費)貸付制度のご案内

低所得世帯へ下記により貸し付ける資金で、受付期間は原則2月から4月に限ります。

資金名	資金の種別	資金の用途	資金限度額	貸付条件 据置期間	貸付金 利子
教育支援資金	教育支援費	入学後に必要となる授業料、交通費、寮費など分割納入するもの	〈高校〉月額 3.5万円以内 〈高専〉月額 6万円以内 〈短大〉月額 6万円以内 〈大学〉月額 6.5万円以内	卒業後 6か月 以内	無利子
	就学支度費	入学に際し必要な経費(入学金、制服、靴、体育着等で学校指定により入学時に購入するもの等)	50万円以内		

※借入申込みに際し留意事項があります。
詳しくは099-472-1800(地域福祉係)までお問い合わせください。